

## 別府小学校区ハートフル・ミーティングの概要

- 1 日 時 平成 23 年 5 月 28 日 (土)
- 2 場 所 別府公民館
- 3 参加者 65 人
- 4 会議の概要

### ○質疑応答

#### (1) 市民の元気と健康 (福祉) について

##### 市民

まずは原発の関係ですが、熊谷市は農業が盛んな地域にもかかわらず、どうして定点観測をしていないのでしょうか。

2 点目は、医療についての質問です。私は、熊谷市は医療過疎ではないかと思っています。やはり、安心して暮らせるまちでないと人口も増えていかないのではないかと思います。この点で、どういう取組があるのか、教えてください。

3 点目に、公民館には市民がインターネットを利用できない所もあります。それほど費用がかかるわけでもないと思うので、是非、市民用にインターネット回線をつないでほしいと思います。

##### 市長

はい。まずは原発の関係ですが、先程御説明した資料の中に、ハウレンソウやネギなどの測定結果が載っています。その後も県が観測を継続しています。最近では、牧草などの観測も継続していますが、「基準以下」あるいは「不検出」という結果が出ています。こういった情報は熊谷市のホームページの中でもお知らせしていますので、是非御覧ください。

次に、医療の関係です。特にこの辺りの地域では、三次救急の深谷赤十字病院に負うところが大きいわけですが、医師の数が少なくなったりして、我々も大変心配しています。そこで、県の保健所などとも連携を取りながら、医師確保に向けて応援をしようと、地元の深谷市を中心に周辺の自治体で財政支援をしています。熊谷市でも毎年 2,000 万円ぐらいの支援を行っています。

それから、公民館でインターネットを利用する関係は、今後の研究とさせていただきます。

##### 市民

先程のお話を聞いて、高齢者関係の施策が充実しているようで安心しましたが、予算はどのくらい付いているのですか。

##### 福祉部長

民生費として 225 億 2,580 万円を予算計上していますが、これがすべて高

齡者関係ということではありません。この中で一番多いのが子ども手当で、約 40 億円です。先程、こども医療の話がありましたが、そちらが約 6 億円です。その他の細かな内訳は資料が手元に無いのでお答えできませんが、民生費の出費は全体の 4 割近くにまで増えています。特に扶助費や手当といったものが増えているということも御理解いただきたいと思います。

市長

少し補足させていただきます。全国的な例ですが、生活保護費が大変に増えています。本市でも約 30 億円と、民生費の中では子ども手当の次に大きな数字になっています。

福祉部長

今、全国で生活保護を受けている方の数は、約 200 万人です。これは戦後の昭和 27 年に戻ったぐらいの大きな数字です。現在、熊谷市でも約 1,370 世帯の方が生活保護を受けています。

市民

別府荘がかなり古くなっていますので、そろそろ建て替えていただきたいと思っています。よろしくお願いします。

市長

別府荘については、これまでもあちこちが古くなってきたという声を頂いておりました。その都度、予算を組んで対応してきましたが、特に平成 21 年度と 22 年度はある程度まとまったお金で修繕をさせていただいたところです。ただ、今後、将来的には行政で建て替えをした方が良いのか、それとも民間の皆さんに建て替えをお願いできるような良い案を考えて、運営もお願いした方が良いのか。そういったことも含めて考えていく必要があるだろうと思っています。現時点ではすぐに建て替えるという考えは持っていませんが、いろいろと手直しをしながら、皆さんに御迷惑がかからないようにしていきたいと思っています。

市民

今、別府荘の改築についてのお話が出ましたが、もしも改築をするのなら、1 階を別府荘にして、2 階をプール、3 階をスポーツクラブなどにさせていただけると助かります。

市長

はい。お気持ちは大変よく分かります。しかし、現状では財政的に難しいと思います。

また、1 市 3 町が合併して新熊谷市になったわけですが、旧の地域ごとに見たときに、熊谷市には小島に熊谷さくら運動公園があって、プールもありま

す。上川上にも熊谷スポーツ文化公園があって、その中にトレーニングジムもあります。しかし、そういった施設が何もない地域もあります。ですから、将来財政的な余裕ができて施設の見直しをするということになっても、地域ごとのバランスも踏まえて考えていくことになると思います。

市民

衛生センターの排熱の利用促進について質問します。熊谷さくら運動公園の屋内プールでは、水を温めるために灯油を使っているようですが、他の行政ではごみ焼却施設の排熱を利用する施設をいろいろと造っているようです。ちょうど別府荘が古くなっているということもありますし、今後はエコという観点からも、ごみの焼却熱の有効利用を考えていかなければいけないと思います。この点についての市長の御意見をお聞かせください。

市長

はい。特に、震災以降の時代の変化というものを考えた場合、より効率的な施設運営が必要になってきていると思います。ですから、財政事情が好転してきたときには、そういった排熱利用ができる施設を新設することも考えられるでしょう。それは頭の中に入れていきたいと思っています。

ただ、衛生センター自体が大分古くなってきましたから、先にこちらの施設を長持ちさせられるようにする事業を計画的に進めていきたいと思っています。

## (2) 安全と安らぎのあるまち

市民

まず、別府 5 丁目にある学校予定地の活用についてお聞きします。ここは長いこと空き地のままになっていて、年に何度か草を刈っていただいているのは良いのですが、それでもすぐ近くの家には小さな虫が飛んできます。この夏、節電のためにクーラーをかけられなくなると、網戸にするしかありませんが、網戸の目からも入ってきてしまうので困っています。予算が絡むので難しいとは思いますが、せっかくの広い場所ですから、高齢者の健康に係る施設でも建てていただけると、とても良いと思います。

もう 1 点は、信号機の設置についてのお願いです。場所は、ベルク玉井店の東側に面して北上する道路と、別府中央通りとが交差する、信号の無い十字路です。そこから南に行くと国道 17 号に通じるようになったので、通勤や通学の送迎をする車などで非常に交通量が増えています。そうした車が次々にすごいスピードで走ってくるので、子どもたちがなかなか渡れずにいます。窓が開いている車にもう少しスピードを落とすようにと声をかけたら、逆に

「うるさい」と怒鳴られたこともあります。お子さんたちの安全を考えると、とても心配です。事故が起きてからでは遅いので、是非あの十字路に信号機を付けていただきたいと思います。

市長

はい。まずは、いわゆる「学校予定地」と呼ばれている土地についてですが、あの土地は住宅用地として、なるだけ早く処分をしたいと考えています。そうすることで財政的にも楽になりますから。虫の発生については、大変御迷惑をおかけして申し訳ございません。早速、現場を庶務課の職員に確認させたいと思います。

それから、信号機の関係ですが、国道17号につながる道路が開通してからは、確かにそこを通過して駅の方に向かう台数が増えているかもしれません。安心安全課の職員が出席しているので、後で確認をさせていただきます。

また、信号機の設置場所を決定するのは県の公安員会ですが、今、熊谷市内で要望のある所が100か所以上あって、実際に設置をされるのは年間3か所ぐらいです。

市民

事故が起きてからでは遅いからです。

市長

もちろん子どもたちが安心して歩けるようにするために、こういった工夫ができるのかを併せて考えてみたいと思っています。

市民

別府沼に農業用水を流し込めるようにしていると聞いていますが、まだ実現できていません。実現できたとしても、途中で水があふれて畑に流れ込んでしまうと、麦が枯れてしまうなどの問題があるのかもしれません。ただ、それならそれで何か別の方法があると思います。例えば、暗渠（あんきょ）にするのはどうでしょうか。この場合も、暗渠の中でごみが詰まらないようにするために、時々ごみ取りをする必要がありますけれど。でも、ただできないと言うばかりではなく、できるようにするためのアイデアが何かあると思うので、その一つの方法として暗渠も考えていただければと思います。

もう一つ気になっていることがあります。それは、新聞等を見てもなかなか熊谷市の良い話題が見付けられないということです。今日の資料を見ても、熊谷市には素晴らしいものがたくさんありますし、その関係で活動をしている人たちもたくさんいます。市としてもその様子をどんどん情報発信してもらえれば、「熊谷市はいろいろなことにすごく取り組んでいるんだな」ということが伝わっていくのではないかと思います。

## 市長

はい。別府沼の関係では、自治会を中心とした秋の清掃活動や、EM菌の関係（水質を浄化するためにEM菌〔有用微生物群〕を含む泥団子を作って沼に投入する活動）など、地域の皆さんには日頃からいろいろとお世話になっています。平成21・22年度に県の応援を頂いて実施した水辺再生事業でも、地域の皆様には行政と一体になって別府沼の再生に取り組んでいただきました。先程、「菱（ひし）が自然に生えてくるなど、だんだん環境も良くなってきた」というお話も伺ったところですが、皆さんの御協力あってのことと、改めてお礼を申し上げます。

また、別府沼に流し込む用水のことですが、まだその上流の増田堀の工事をしているところです。そちらの状況も見ながら考えていきたいと思っています。

これからも地域の皆さんや「別府沼を考える会」の皆さんと連携を取りながら、いろいろな良い知恵を出していきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

次に、新聞などへの情報発信についてですが、毎月一度は市役所で記者会見を開いて、市の行事ですとか、市の考え方を全てプレスリリース（記者発表）しています。今後もそういった機会を活用して、熊谷の良いものやイメージアップにつながる情報をどんどん発信できるように努力していきたいと思っています。

最近取り上げていただいた話では、昨日NHKの「首都圏ネット」で「東日本大震災オール熊谷自立支援ネットワーク」の取組が放映されました。避難をされている方に熊谷市で住宅を提供したり、生活費の応援をしたりということで取り上げられていました。

## 市民

別府沼の話が出ましたので、改めて3点ほど申し上げます。

1点目は、スイレンを植えたらどうかということです。私は一週間に一度ずつ別府沼公園に行きますが、あそこを通る度にモネの名画や、李香蘭の「紅（あかい睡蓮（スイレン）」という歌を思い出します。スイレンの花を咲かせれば、多くの人が写真の撮影やスケッチに集まってくるものと確信しています。

2点目は、先程も少し話が出ましたが、別府沼に水草の菱（ひし）の実をまいてほしいということです。幾年かたてば、相当増えると思います。私が育った頃は、「栗よりうまい菱の実」と非常に評判が良かったものです。是非、菱を増やしてもらいたいと思います。

3点目は、自転車ロードについての提案です。妻沼の聖天様が6月から一般公開されますが、非常に見事なものです。その聖天様と別府荘や別府沼公園

を是非、自転車ロードで結び付けてもらいたいと思っています。田んぼの中には農繁期以外あまり使われていない道がたくさんありますから、その一本を高齢者向けの自転車ロードにしてはどうでしょうか。別府荘からスタートして、妻沼の方を一回りして聖天様で歴史を学び、最後に別府荘に戻ってきて風呂に入るというコースにすると良いと思います。新しい道路を造るのではなく、今ある農道を自転車ロードに指定して看板でも立てれば、後はPRするだけで済むと思いますので、お金もかかりません。

市長

はい。まず、スイレンについてですが、「別府沼を考える会」の皆さんと我々が行った意見交換の中でも取り上げられたことがあります。確かに水辺に浮かぶ絵姿はきれいですが、「自然の水辺を再生する」という観点からすると、在来の植物と外来の植物との差は考えなければなりません。つまり、今の段階ではスイレンは別府沼にふさわしくないだろうと思っています。

ただ、菱（ひし）については、既にぼちぼちと出始めているということですので。自然発生的に出てきたということで、大変良いことだと思っています。菱は元々別府沼に生えていた在来種ですから、そういった昔からあるものについては、これからも大切にしていきたいと思っています。

それから、聖天様と別府沼公園を結びつけるというお話です。既に行っている取組としては、毎年のように無料のシャトルバスを出して、籠原駅発で別府沼に行き、能護寺を見てから聖天様へ行くというルートを設定しています。JRの「駅からハイキング」でも、籠原駅から別府沼を経由して聖天様を回るコースを設定しています。また、今度「日本陸上競技選手権大会」が6月10日から開かれますが、やはりバスを用意して、別府沼と能護寺のアジサイ、そして聖天様を回っていただくコースも考えています。ただ、今年は別府沼のショウブの開花が遅れているので少し心配していますが、いずれにしてもそういった工夫をして聖天様とのマッチングをしているところです。

そして、サイクリングロードについてですが、道路の指定をすると、もしそこで事故があった場合には行政の責任になります。実際に利用される方のためにも、果たして農道を通して安全に聖天様まで行けるのかどうかと検証する必要もあるでしょう。また、普通はサイクリングロードと言うと、ある程度道幅が広くて、自転車と歩行者の通行する所を分けています。一段高い歩道までは造らなくても、地面に「ここは自転車が走る所ですよ」という絵を描いたりするものです。果たしてあれだけの狭い道でそれが可能かどうかということも含めて研究をさせてもらいたいと思います。

市民

別府第2公園の外周道路は路上駐車が非常に多くて、子どもたちが通って

いるのを見ている平気でどんどん駐車しているんです。この間もダンプカーが止まっていて、小学1年生の子どもが通れませんでした。そんな状態はまずいので、是非あそこに駐車禁止の標識を立てるとか、何か対策を考えてもらいたいと思います。

市長

駐車禁止の指定をするのは県の公安委員会ですから、熊谷市が駐車禁止の標識を付けるわけにはいきませんが、後で職員に場所を教えてください。見回りをさせてみますから。

市民

別府中学校の近くなのですが、マンホールから下水の水があふれ出て、民家の庭に流れ込んでしまう場所が1か所あって、困っています。是非マンホールの下の排水管を掃除していただければありがたいと思います。

市長

分かりました。それでは後で場所を教えてください。担当の職員に確認をさせます。

市民

熊谷市で放課後児童クラブに入れるのは小学3年生までで、4年生以降は自宅で留守番をさせるしかないのが現状だと思いますが、実際に子どもを持つ親としては、4年生の子どもに一人で留守番をさせるのは、なかなか心配が絶えません。

他の市ではもっと上の学年まで入れるところがあるように聞いています。

先程、放課後児童クラブの数や定員がだんだん増えているという説明もありましたが、もう少し早急に人数を増やしてもらいたいと思います。

市長

はい、このことについては、お母さん方やお父さん方からいろいろと要望を頂いています。まず基本的なお話としましては、国が示す放課後児童クラブのガイドラインが、おおむね小学3年生までであるということがあります。また、先程申し上げたように、小学校区の中にはまだ児童クラブの無い所や3年生までの児童で待機児童を抱えている地区もあります。児童クラブが無い所ではどうしているかというと、シルバー人材センター等をお願いをして子どもたちを児童クラブのある所にまで連れて行ってもらい、そこで保育をしてもらっているという状況です。今年新しく児童クラブを開設することにした秦小学校でも、隣の長井児童クラブまで送迎し、そこで保育をしています。ですから、まずはより不便が大きい、児童クラブがまだ無い所や3年生までの待機児童が多い小学校区の整備を優先させていただきたいと思っています。

それから定員についてですが、若干余裕がある所は 4 年生以上であっても受け入れている所があります。

お母さんがおっしゃられたように、なるだけ多くの施設を造れるよう頑張っていきたいとは思っていますが、現実に関、御不便をおかけしている点につきましては、大変申し訳ないと重ねてお詫びをいたします。

## ○市長のまとめ

今日はいろいろと貴重な御意見を頂きまして、ありがとうございました。

前回の開催は 2 年前でしたが、その時に頂いた御意見につきましては、中には積み残しもありますが、ある程度は解消して今日この場に臨ませていただいたつもりでございます。

特に、区画整理地内の側溝の蓋掛けは、その後の 2 年間で全力を挙げて取り組んできました。これまで蓋掛けができるのは年間 1,000 メートル弱でしたが、この 2 年間で 10,000 メートル近くできました。これで残りは 2,300 メートルです。全てを合わせると 27,000 メートルとなりますが、これは 23 年度中に達成したいと思っています。

前回は別府沼の関係でいろいろと御意見を頂きましたが、その後の 2 年間で水辺再生に取り組ましまして、事業としては一応の完了を見たところです。

また、まだまだ他にも、例えば先程は下水道があふれているとの御指摘を頂きましたが、それらのことにつきましても至急調べて対処をしていきたいと思っています。

ところで、先程、児童クラブのお話がありましたが、熊谷市では、例えば中学 3 年生までの医療費無料化など、他ではやっていないことをずっと前からやっています。これは、埼玉県では鴻巣市に次いで 2 番目、窓口の無料化ということでは県内初の取組になります。また、子宮頸（けい）がんのワクチン代も、他市では 1 割程度の自己負担がある所がありますが、熊谷市では全額無料でやっています。一つのことだけで比べると弱い所もありますが、全体的に見ていただければありがたいと思っています。

いずれにしても、皆さんからお預かりしている貴重な税金ですから、これからも大切にに使わせていただきながら頑張っていきますので、今後とも御協力をよろしくお願いいたします。

以上でまとめを含めましてのお礼の御挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。